

エリトリア：9年拘束チハムさんに米国が反応



©Amnesty International

チハム・アリ・アハメッドさん（23歳）は2012年12月、エリトリアの国境を超えようとして当局に拘束されました。それ以来9年近く、家族は連絡を取れず、拘束場所も安否もわからない事態が続いています。

チハムさんが国境を越えをしようとした同時期に、元情報大臣の父親は国を出ました。その1カ月後、兵士の集団がクーデターを企て、情報省の建物に押し入り、政治犯などの釈放を求めました。クーデターの背後にチハムさんの父親がいるとみなされ、その報復でチハムさんの秘密裏の拘束が続いているのではないかとみられています。

家族が、関係当局に照会しても「大統領しかわからない」との返事だけです。アムネスティもチハムさんに関わる情報の開示や解放を求めましたが、当局が動く気配はありませんでした。

そんな中、米国の上院外交委員会が動いたのです。同委員会が、アムネスティのチハムさんの解放を求めるツイートをリツイートしました。チハムさんは、育ちはエリトリアですが生まれは米国で、米国の国籍も持っています。米国の政府機関が初めて、チハムさんの問題の存在を認めたとと言えます。

長年閉ざされてきた扉をこじ開けるために、引き続きエリトリア政府に訴えていきます。

■支援してください

みなさんにツイッターでの支援を引き続きお願いします。

●エリトリア大使館@EritreaEmbJP: "Immediately and unconditionally release Ciham Ali, a US citizen"

●米国国務副長官@AsstSecStateAF: "Call on the Eritrean government to immediately and unconditionally release Ciham Ali, a US citizen."

ブルンジ：記者4人 大統領恩赦で釈放



©Iwacu

取材活動が、国の治安に脅威を与えたとして有罪になり収監されていた記者4人が昨年12月、大統領恩赦で釈放されました。1年2カ月ぶりの自由です。

独立系メディアで記者をする4人は一昨年10月、治安部隊と武装勢力間の衝突があった紛争地に入ったところ、拘束されました。事前に取材許可を取っていたにもかかわらずです。3カ月後、なんの根拠もなく、共謀して治安に脅威を与えようとしたの罪で2年半の実刑判決を受けました。取材活動を「治安の脅威」とするのは論外でした。

ブルンジでは2015年、ンクルンジザ大統領（当時）が憲法違反とされる3選を目指して大統領選に出馬したときに大規模な抗議運動が起こりました。その時以来、国に批判的な記者や人権活動家、市民への弾圧が続いています。

当局に釈放の要請文を送付して下さったみなさんに感謝いたします。ありがとうございました。

モロッコ：人権活動家 ようやく保釈

昨年未から拘束されていた人権擁護活動家のマーティ・モンジブさんが3月23日、ようやく保釈されました。

国際メディアやシンクタンク、学術会議などで当局の人権侵害を厳しく批判していたマーティさんは昨年12月末、突然逮捕、起訴され、実刑1年が言い渡されました。容疑は、6年前にあったとされるマネーロンダリングと横領ですが、検察は何の証拠も示していません。また、本人も弁護人も出廷しないまま、判決が下されました。

アムネスティは、モンジブさんの活動をめぐる当局の対応は、引き続き注視していきます。

南アフリカ：女性2人殺害事件 捜査へ



昨年のライティングマラソンの対象となった女性2人の殺人事件の捜査が動きそうです。

4年前、ポピ・クワベさん(24歳)とボンゲカ・フングラさん(28歳)が、殺害され遺体で見つかりました。性的暴行を受けた上で射殺さ

れたとみられています。その後の捜査で、1台のタクシーから2人の所持品と血痕が見つかりましたが、運転手は、2人を乗せているときに強盗に襲われ、自分は逃げたと言いつつ張ったのです。警察は、なぜ運転手が通報しなかったのかという点や血液鑑定などの捜査結果を公表することもなく、証拠不十分として運転手を釈放し、捜査を打ち切りました。

この国では、3時間に1人の割合で女性が殺され、犯人はほとんど処罰されないままといわれています。しかし、アムネスティが厚い捜査の壁に風穴を開けられるかもしれません。

3月8日、アムネスティ南アフリカ支部は、2人の遺族とともに警視副総監らに面会し、世界中から集まった約32万筆の署名を手渡しました。そして、副総監らから事件を再捜査する約束を取り付けることができました。

みなさんからの署名が大きな力になりました。ご支援にあたためて感謝いたします。

アルジェリア：記者恩赦で釈放



©Amnesty International

昨年のライティングマラソンで取り上げたアルジェリアのジャーナリスト、カレド・ドラレニさんの裁判に前進がありました。最高裁が3月25日、有罪判

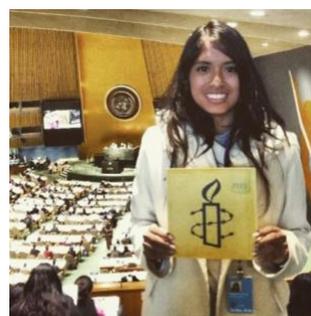
決を破棄し、審理のやり直しを命じたのです。

カレドさんは、自由、権利尊重、腐敗撲滅を標榜するアルジェリアの社会運動「ヒラク」に強い関心を持ち、街頭デモを毎週のように取材してきました。警察による暴力も記事にしました。昨年3月に拘束され、集会扇動と国家の品位を毀損した罪で起訴され、9月に実刑2年の有罪判決を受けました。この判決に対して今回、最高裁が、審理のやり直しを命じました。

カレドさんは、デモを取材していただけです。これまで何度か拘束されていますが、ヒラクの運動を広く伝えたいという信念は変わりません。

審理のやり直しは一步前進です。アムネスティは、引き続きカレドさんに対する不当な容疑の取り消しと無罪釈放を求めています。

アムネスティペルー支部理事長への脅迫やむ



殺害の脅迫を受けていたアムネスティ・ペルー理事長グラシエラ・テイプルシオさんへの脅迫がなくなりました。

ジャーナリストでもあるグラシエラさんは2月19日、複数の少年にハラ

スメントを受けたと訴えられていた議員立候補者に取材を申し込みました。その後から、グラシエラさん自身が、嫌がらせや脅迫を受け始めたのです。3月半ばからは殺害の脅しが始まったため、3月19日、アムネスティはグラシエラさんの保護と安全を求める訴えを始めました。すると2日後には脅迫が止まり、警察がグラシエラさんの警備を検討することになりました。

UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp
UA 年会費：3000 円
郵便振替：00120-9-133251
加入者名：公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本